

## 総合的な学習の時間（くすのき学習）

- 1 目的 主体的・協働的に探究し、よりよく課題を解決する。
- 2 計画 ①3・4年は35時間、5・6年は70時間で年間計画を作成する。  
②各学年で情報教育（一人一台タブレット端末）計画を作成する。

学年	くすのき学習		環境学習	合計
3年	環境（動植物）	20時間	環境 プログラム を参照	15時間 35時間
4年	環境（川、ごみ、リサイクル）	20時間		15時間 35時間
5年	福祉（障がい者、高齢者など）	55時間		15時間 70時間
6年	地球温暖化	55時間		15時間 70時間

- 3 内容
- ・子供の興味関心に基づく学習
  - ・課題を見つけ、自ら学び、考え判断し、よりよく問題を解決する学習
  - ・学び方や考え方を身につけ、問題解決・探求活動に取り組み、自己の生き方を考える学習

（昨年度の活動内容、実践）

	学 習 内 容
第三学年	<p><b>テーマ「SDGs森と海を守ろう」</b></p> <p>○主な内容 ・絶滅危惧種について知る。 ・調べたい動物を選び、調べたいことを決め、調べる方法を知り、調べたことをまとめ発表する。</p> <p>○目標 ・地球の環境について興味関心を持ち、もっと知りたい、調べたいと意欲を高めたい。 ・タブレット端末を活用し、グループで調べたことを発表したり、共有したりする。</p> <p>○昨年度の課題 ・タブレット端末を使いこなすまでに時間がかかる。インターネットなどで調べても子供が欲しいと改善点 情報が得られなかった。→本の活用やゲストティーチャーを呼ぶ。</p>
第四学年	<p><b>テーマ「3Rでごみをへらそう」</b></p> <p>○主な内容 ・家庭、学校、地域、岡崎市全体のごみの実態や問題点について調べる。 ・3Rの意味や意義を理解し、自分たちができることを考えて話し合う。 ・学習したことや考えたことを工夫してまとめ、保護者や学区の方、下学年に発信する。</p> <p>○ゲストティーチャー 岡崎市環境保全課、ごみ対策課</p> <p>○目標 ・環境教室を通して、ごみ問題に対する危機感や実践・発信への意欲が高めたい。</p> <p>○昨年度の課題 ・コロナ禍のため、施設見学に行くことができなかったため、切実感をもって活動に取り組むと改善点 という意識を十分に高められなかった。 →ゴミステーション等に行き、現状を見ることで切実感を味わうことができるのではないかと。</p>
第五学年	<p><b>テーマ「すべての人に健康と福祉を～SDGsの考えをもとに～」</b></p> <p>○主な内容 ・障がい者や高齢者の疑似体験、介助体験を通して、相手の立場を理解する。 ・障がい者や高齢者と共生するための工夫を調べ、自分たちができることについて話し合う。</p> <p>○ゲストティーチャー 岡崎市社会福祉協議会から紹介された講師</p> <p>○目標 ・障がい者や高齢者と触れ合うことで、さまざまな人の思いや苦労を実感する。 ・情報の収集・整理を通して、自分たちができることが明確となり、実践への意識が高める。</p> <p>○昨年度の課題 ・実際に福祉施設に足を運べるとよかった。</p>
第六学年	<p><b>テーマ「環境のためにできること」</b></p> <p>○主な内容 ・地球温暖化の現状について、世界と日本の生活と関連させて調べ理解する。 ・温暖化のメカニズムや防止への取組について調べ、自分たちができることについて話し合う。</p> <p>○目標 ・二酸化炭素による実験を通して、温暖化のメカニズムをより深く理解する。 ・情報の収集・整理・発信を通して、温暖化防止に協力できることを啓発する。</p> <p>○昨年度の課題 ・グループによって調査内容が異なり、全員で共有できなかった。→視点を与える又は、意図的にグループごとで調査内容を変えることで新しい着眼点をもつことができるのではないかと。</p>